

第18回大井町地域公共交通会議 概要

日 時：令和5年10月20日(金) 午後3時～

場 所：大井町役場 3階 303・304会議室

出席者 井原会長、井上(仲)副会長、武井委員(代理：中津川委員)、門松委員、香川(弘)委員、
(17名) 平田委員、小柳委員(代理：辻本委員)、内田(実)委員、井上(捷)委員、寺下委員、中
村委員、香川(伸)委員、諸星委員、湯川委員、内田(憲)委員、橋本委員、矢吹委員

オブザーバー 鈴木氏

欠席者 最上委員、福島委員、尾登委員、橘川委員、藤澤委員
(4名)

事務局 井上、廣川(大井町企画財政課)
瀬戸(ランドブレイン株式会社)

公開 公開 / 非公開

傍聴者 5名

次第 1 開会

2 町長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議題

(1) 大井町巡回バス「おおいゆめバス」について

○おおいゆめバス利用実績について

資料1

(2) 互助輸送サービスガイドラインについて

資料2

(3) 商業施設等の連携サービスについて

資料3

(4) 運転手確保策について

資料4

(5) 松田町 AI オンデマンド交通実証実験の実施について

資料5

(6) その他

5 閉会

■議題における議事録

(1) 大井町巡回バス「おおいゆめバス」について

○おおいゆめバス利用実績について

・事務局より、○おおいゆめバス利用実績について、説明〔資料1〕

【意見・質疑】

会	長	この件に関しまして、ご質問、ご意見などございますか。
委	員	別紙の件ですが、町民より出た意見として「バスの到着時間が30分以上遅れてくることがある」とありますが、30分という遅れは町内では考えられません。どのような理由で30分遅れていますか。
委	員	私も30分遅れているという報告は、聞いたことがありませんでした。渋滞などで遅れてしまうことは運行管理者から報告を受けていますが、改めて現状について調べて、ご報告いたします。大変申し訳ありません。
会	長	30分遅れはやはり使いづらく、利用者にとってはあり得ない話です。バスは道路状況により、時間通りに到着することは難しく、10分位なら我慢できますが、30分も遅れるのなら利用者は別の手段を取ると思われます。富士急湘南バス(株)は、バスがどこを走っているか調べることができます。大規模な遅延や別ルートを走るといったような内容もSNS等からも見ることができるため、是非町からもバス情報の収集のやり方について広報して欲しいと思います。
委	員	同じく別紙より「町民より出た意見」の中に、「ボランティア運送を相和でやった場合は、高齢者でも相和地区の人間は農作業で忙しいため、運転手として手を挙げる人はいないと思う」とありますが、これは農家の方が忙しく、ライドシェアが始まった場合、手伝いできないという意味でしょうか。
会	長	相和地区意見交換会では、ゆめバスについての意見交換と併せて、地域の助け合いによる移送の実態についても確認を行いました。こちらは地域公共交通計画を策定する際に行ったヒアリングで、相和地区の方々からお金を取る、取らない関係なくご近所同士による助け合いで買い物等に乗り合いで行っているという話がありました。大井町では、その状況を互助輸送サービスという仕組みづくりをしてやっていないかを検討しています。今回は、その事例のあった相和地区の方々に再度質問したところ、このような回答があったということです。少し補足しますが、最近話題になっているライドシェアは、皆さんが乗っている白ナンバー車両で知らない人と乗り合いし、金銭を頂く仕組みです。自家用有償旅客運送という白ナンバーでもお客さんを乗せて走ることができる制度が現在もあります。実施するために車両の整備や運賃などの書類を準備し、国土交通省に届けることとなります。現在、ライドシェアはこの制度を緩和し、運用しやすくするための議論が始まろうとしている状況です。すぐに運用できる状況でないことを覚えておいてください。
委	員	別紙に記載されていない意見も多々ありますが、1つシルバーパスの手続き方法についての意見があったと思います。シルバーパスについては担当課より、広報紙などを活用しながら、制度の内容や手続きの仕方などについて記載して頂きたいと思えます。意見交換会で、制度について質問した時に担当課が違うという趣旨の説明をされていましたが、担当者からも分かる範囲で説明して頂ければ、安心すると思えますの

で、連携しながら取組んで欲しいと思います。また、小中学生の無料パスは大変有難い施策かと思います。先程 30 分バスが来ないということでしたが、バスの運行というよりも道路環境が問題で、町道 4 号線は狭く、大きな車が来ると、対向車は前に進めない状況です。山間部に入ると、さらに道が狭いため、中々スピードが出せない状況のため、道路の状況から 30 分遅れが生じたかもしれません。

会 長 ありがとうございます。シルバーパスの情報の連携については、悪く言えば、縦割りということですが、その時にあった意見としてシルバーパス担当は福祉課ですので、企画財政課では手続きの仕方の細かいオペレーションまで分からないという回答でした。出来れば色々な方法で申請を受け付けて欲しいという要望だったと思います。おおいゆめバスは、子どもの利用が多くありますが、当初の目的を踏まえ、休日などの通学以外で普段のお出かけでの子どもの利用例があると良いと思います。また、シルバーパスを運用したことで、減収になりますが、元々の運賃で利用してもらった場合はどの位の収支率だったのか、年度末でも良いので試算して情報共有して欲しいと思います。

(2) 互助輸送サービスガイドラインについて

・事務局より、互助輸送サービスガイドラインについて、説明〔資料 2〕

【意見・質疑】

会 長 今回資料を見て、ご質問などございますか。今はないようですので、手引き案については、本日持ち帰りいただき、次回コメントを頂くか、予め事務局へ意見を伝えて頂いても良いかと思います。先日相和地区で意見交換会を開催しましたが、地域として使うニーズがあるのか、やるニーズがあるのか把握しながらブラッシュアップしていきたいと思います。交通事業者や町だけでは公共交通を維持することは出来ないため、地域の皆様と協力しながら進めていければと考えています。

(3) 商業施設等の連携サービスについて

・事務局より、商業施設等の連携サービスについて、説明〔資料 3〕

【意見・質疑】

委 員 お出かけとして、例えば病院や買い物以外でビオトピアへ行きたい人もいますが、不便な状況です。病院や買い物以外で、健康を保つために、楽しいお出かけが出来るためのプランについても是非追加して欲しいです。

会 長 病院や買い物だけでは楽しく暮らせないため、楽しむための移動を作ることも必要です。今後もこのようなプランは増やしていただき、どこに行きたいか情報を事務局で収集し、作成していきたいと思います。他では、「マイ時刻表」を作成している自治体もあります。富士急湘南バスコンシェルジュで調べますと、全部の時刻表が出てきますが、お出かけしたい人にとっては全部の時刻表は必要ないため、何時のバスに乗って、どこどこへ行けるなど自分専用の時刻表を作ってくれる自治体もあります。自治体にどこへ行きたいと用紙を送ったら、担当者が時刻表を作成し、送付しているようです。細かくニーズを拾う場合はそのような方法かと思います。地域がお出かけしたくなる環境づくりについては、是非取組みたいと考えています。バスの時刻表のデー

タについては、GIFS があり、富士急湘南バス（株）もオープンデータとして最近公開したため、来年度以降どのようにしたら活用出来るのか事業として取組みたいと考えています。

(4) 運転手確保策について

・事務局より、運転手確保策について、説明〔資料4〕

【意見・質疑】

会	<p>長 ご質問などございますか。町のホームページに民間企業の求人広告が掲載されていますが、本来は有料で行っているようです。今回地域公共交通計画の中で、町も支援することを盛り込んでいるため、町のホームページに無料で掲載できるように調整している状況です。今回ホームページに掲載したら、すぐに運転手が確保されるという状況でないと思いますが、町で出来ることを少しずつ取組んでいる状況です。地域の皆さまも沢山バスを利用して頂き、バス事業者が儲かることによってバス運転手の給与が上がることで、応募してくれる方が増えるよう、地道に積み上げていきましょう。バス事業者が儲からないから路線維持が出来ないのではなく、最近メディアで取り上げられている話は、運転手が不足しているから路線を運行することが出来ないということです。これは大井町でもあり得る状況のため、皆さまのご支援をお願いいたします。</p>
---	---

(5) 松田 AI オンデマンド交通実証実験の実施について

・事務局及び松田町担当より、松田 AI オンデマンド交通実証実験の実施について、説明〔資料5〕

【意見・質疑】

事務局	<p>資料 5-1 にございます通り、松田町が実証実験を計画しており、松田町 AI オンデマンド交通に関して計画運行地域に本町の一部区域が含まれているため、松田町地域公共交通会議会長より協議依頼がありましたので本日の議題とさせていただきます。詳細の協議事項、実証実験の計画内容、松田町地域公共交通会議での協議状況等につきましては、この後松田町地域公共交通会議の事務局である松田町政策推進課の職員の方からご説明をいただきます。</p>
会	<p>長 この後松田町の職員からお話がありますが、まず資料 5-1 の確認です。1 枚目松田町長から大井町長へ、2 枚目が松田町地域公共交通会議会長から大井町地域公共交通会議会長あての依頼状になっており、3 枚目が回答様式となっています。大井町はこの会議があるため、大井町会長から松田町会長あてに戻すという形で回答する認識が良いようです。内容の詳しいところにつきましては資料 5-2、5-3 を用いまして松田町からご説明いただきたいと思います。</p>
オブザーバー	<p>冒頭ですが、松田町からまず謝罪させていただきます。松田町では地域公共交通会議を中心に進めて参りました、AI オンデマンドバス「のるーと足柄」の実験ですが、来週 10 月 23 日からスタート出来るように進めて参りました。先ほど町長からも大井町に事前連絡を行わず、事前周知として広報を行い、大井町地域公共交通会議の協議前の 10 月 17 日にオープニングセレモニーを開催したことに対して深くお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。AI オンデマンドバス「のるーと足柄」はAI</p>

という機能を使って展開をしています。この実証実験は10月23日から3年間、色々な課題を検証し取組んでいきます。一部大井町の区域をエリアとして運行するため、各町の地域公共交通会議での協議が必要となっています。今から3年間の本格運行の期間で、公共交通の中の課題をしっかりと洗い出し、整備を行いながら、皆様の暮らしを豊かにするという大きな目標を掲げ取組んでおります。本日は大井町地域公共交通会議にて、松田町で実施する事業についての目的、主旨をご理解頂き、大井町一部区域を運行することに対し、大井町地域公共交通会議の承認が必要となるため、本日伺った次第です。ご承認を頂いた後は、大井町の住民に対して地域説明会や利用者説明会を必要があれば、松田町が実施させて頂きたいと考えています。令和3年から大井町とは松田町からの移動販売車「くるまつくん」や移動スーパーなどにおいても連携していますが、今後も公共交通以外の分野におきましても引き続き連携に向けてご支援ご協力をお願い致します。

松田町担当者

資料5-2、5-3に基づいて説明します。

まずは資料5-2の1運行の背景・目的について、松田町は人口が平成7年をピークに減少し令和2年国税調査では10,836人、65歳以上の高齢化率は34.1%となっています。人口減少や少子高齢化などの影響により、地域にとって大切な地域公共交通の維持・確保が厳しい状況です。また、路線バスの利用者も減少傾向です。そうした状況において、地域内にAIオンデマンド交通システムを導入することで、既存の公共交通サービスが行き届かなかった地域・時間帯における公共交通を確保し、町内のどこでも、誰もが安心して利用できる公共交通網を形成するため、松田町地域公共交通計画に掲げる「誰もが“笑顔”で行きたい所へ行けるまち 松田」の実現を図るものです。

2 運行体制についてですが、町から、一般社団法人足柄オンデマンドへ実証実験の実施の委託を行い、同社団より、町内の3社の交通事業者へ運行委託を行います。下記の相関図の通り、富士急湘南バス(株)、松田合同自動車(株)、(株)丹沢交通です。

3 AIオンデマンド交通とは、路線バスのように、決まった経路や時刻表のある交通サービスではなく、利用者の予約に応じて運行する乗合いの交通サービスです。比較のために下記の一覧から路線バス、タクシーの中間に位置するようなサービスとなっています。特徴の記載がありますが、AIが最適なルートを作成、事前予約制、区域内でのみ運行、乗降ポイントで乗降り乗合いによる運行などがあります。

4 運行計画について、実施期間は令和5年10月1日～令和8年9月30日の3年間ですが、運行開始日は10月23日です。運行形態は富士急湘南バス、丹沢交通が「道路運送法第4条に基づく一般乗合旅客自動車運送事業」で、松田合同自動車が道路運送法第21条による乗合運送許可という形です。運行経路は、利用者の予約に基づきオンデマンド配車システムにより自動生成された経路を運行します。運行区域は、松田町全域及び大井町の一部区域です。ミーティングポイントは公共施設、医療機関、体育館などの広域施設等となっています。運行日は年末年始(12/29～1/3)を除く毎日です。運行時間帯は午前6時30分から午後10時00分です。運行車両はワンボックス車両でトヨタのハイエース、乗車定員は10名だが運転手、助手席を除いて8名、4台です。対象者や予約方法は説明を割愛します。運賃は4頁に料金表を参照。

	<p>デマンドバス乗り放題の会員制定期券サービス、その都度お支払いの非会員乗車券サービスの2種類を用意しており、それぞれの料金は料金表を参照してください。デマンドバスの一番の特徴は定額制料金の導入です。バスの運行等の経費を賄える会員数を確保することができれば持続性のある交通サービスを受けることができます。5頁目で、バス停はシートタイプ、サインタワータイプ、看板タイプの3つのタイプを用意しています。運行車両は資料の写真の通りです。</p> <p>資料5-3は、実際の運行エリアを示した地図で、1頁から9頁までが松田町で、大井町は10頁以降です。松田町では令和5年10月から令和8年9月まで3年間を実証実験としています。実験を行う中で一番大切にしたいと考えていることは住民目線です。立った上で地域住民の方々の移動手段を将来に渡り守っていきたい。富士急湘南バスや松田合同自動車に頼り切っていたため、考え方を一部改めて地域の移動手段を守るために地域全体であり方を考えて支える仕組みを構築していかなければならない。補助金ありきでなく、交通サービスの維持、そして民間企業である交通事業者に対して収支バランスを特に気にすることもなく、交通サービスを維持して欲しいといったお願いをするスタンスだけでなく、浮かび上がって来る課題を共に共有したいと考えています。あるべき共存の姿を見出していくことが出来れば、地域住民だけではなく公共交通事業にとってもプラスの取組みなると考えています。それぞれの地域ごとに特色があるため、結果はそれぞれ違って来るかもしれない。町等と交通事業者の間で定期的な情報交換をしながら、改善すべき所から速やかに改善し、お互いに持続可能な交通サービスを展開していけるように足並みを揃えていきたいと考えています。</p> <p>委員長 ありがとうございます。何故謝罪から入ったのか、ルールを確認をしたいと思えます。松田町でデマンドの区域運行するために、その区域の方々と区域や運賃などについて協議をすることが必要です。今回区域が大井町にも跨るため、大井町でも協議をしなければならないルールとなっていますが、協議の前に運行することが情報として出てしまった状態で、手続きの順番が異なってしまったという趣旨です。</p> <p>委員 今回の説明につきまして、質問やコメントなどはございますか。</p> <p>松田町担当者 仕組みにですが、1点目に、一般社団法人足柄オンデマンドの役割について教えてください。2点目は予備車両を用意していますが、予備車両の使い方を教えてください。3点目はバス停からバス停のみの予約で、そのバス停からバス停の間に降りたい地点があっても停車はできず、その近くのバス停で降りるという理解でよろしいでしょうか。</p> <p>松田町担当者 一般社団法人足柄オンデマンドの役割については、料金徴収業務とプロモーションといったサービスの展開、アプリ等の利用説明会の実施など運行以外の部分を全て行います。運行については、富士急湘南バス(株)、松田合同自動車(株)、(株)丹沢交通の3社にお願いしています。2点目の予備車両については、通常は4台を車両として用意していますが、万が一、事故が起こり、メンテナンスの関係で使用できなくなった場合に、サービス水準の低下を防止するために交通事業者で持っている予備車両を使用するためとなります。3点目ですが、デマンドバスについては、タクシー事業者との棲み分けのため、完全なドアツードアはタクシーの役割としております。乗降場所は150~200m間隔で設定しており、フリー乗降とはなっていません。補足ですが、最</p>
--	--

	<p>初の質問の一般社団法人足柄オンデマンドについては、元々あった法人ではなく、町の地域公共交通会議が地域性を持たせて法人を立ち上げようという主旨から、皆さんの協議を踏まえた上で、地域公共交通会議の承認を得て、この団体が立ち上げています。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。他に何かご質問ありますでしょうか。</p>
町 長	<p>運行センターはコンピューターで、場所はどこにありますか。</p>
松田町担当者	<p>予約のシステム自体はクラウド上で対応します。コールセンターの機能は松田町役場の隣にある生涯学習センターの中に事務所を構えています。</p>
町 長	<p>誰か1人専属のスタッフがいて、電話はその人が取ることになりますか。</p>
松田町担当者	<p>スタッフの状況については、事務局長1人、職員1人、コールセンターの職員の3人で、合計5人です。</p>
委 員	<p>1点目は予約1名でも1台動くのか、予約は何人か集まらないと動かせないのでしょうか。2点目は大井町の方が乗車券を買う場合はどこで購入出来ますか。</p>
松田町担当者	<p>乗車券を希望の方は生涯学習センターに来て頂くか、銀行振込で乗車券を購入することも可能です。足柄オンデマンドに問合せを頂ければ、手続き方法をお伝えしたいと思います。予約が1名だけでも運行します。乗車する方が一番近い車両に指示を受けてその1名の方をお迎えすることになります。A地点からB地点へ行きたい場合、その間で同じく移動したい予約があった場合にも対応出来るよう20~30分程度余裕を持ってもらいますが、それより時間がオーバーする場合は予約ができないシステムとなっています。</p>
委 員	<p>おおいゆめバスと運行形態が違うため、違和感があります。どうして同じ方向に向かって同じやり方でやらないのか、一つの形でやった方がいいと思いますが、まるっきり違うやり方でやっており、もう少し連携をとった方が良いのではないかと。そういう中で話し合いをした方がいいと思います。</p>
会 長	<p>私もそう思います。大前提として、この会議ですべてと言っているのは、計画や様々な取り組みを大井町だけでやっても意味がないということです。富士急湘南バス(株)が市町を跨る路線を運行しており、小田原駅から大井町を抜けて松田町までの路線や、松田町を抜けて山北町まで運行している路線があります。人の移動は繋がっているため、広域で考えていくことが大前提だと思います。問題なのはそれぞれで違う取り組みをしているため、各市町の取り組みがそれぞれの取り組みを食い潰さなければいいと思います。今回の話は、おおいゆめバスや、地域間幹線である富士急湘南バス(株)などにも影響を与えてしまうのではないかと思います。地域間幹線や鉄道が「枝」の部分の交通であり、おおいゆめバスや松田町が行うデマンド交通はその「葉」の部分の交通にあたります。葉を運行することで幹や枝が育てば良いですが、枝の領域まで食い込むことになると、枝が細くなる可能性があると思います。今回、3年間のデマンドの実証実験を行い、収支が合わないことからデマンド交通が無くなり、その3年間で富士急湘南バス(株)やおおいゆめバスの利用者が、デマンド交通影響を受けて減り、運行が維持出来ないことから、減便や廃止になることが起こり得ると思います。3年後にデマンドも今のバスが無くなって、何も残らない状態が一番悪い想定で、今の資料だけだとその可能性もあるのではないかと考えてしまいます。そうならないた</p>

<p>松田町担当者</p>	<p>めにいくつか質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 富士急湘南バス（株）や松田合同自動車（株）と事前に協議をして松田町地域公共交通会議で協議が整っている状況だと思いますが、競合状況はどのように整理されましたか。 2. オンデマンド交通の乗降ポイントがあることで、既存路線バスのどの路線が影響を受けますか。 3. 地域としての空白でなく、時間空白に注力した方がいいのではないかと思います。今回の時間設定ですと競合する時間が出てしまうため、その時間は違う対応をした方がいいと思いますが、どのような協議を松田町でされたのか教えてください。 4. フィーダー系統や地域間幹線系統の補助を受けるための基準として何人以上必要という基準があり、デマンドを運行することで基準を下回る可能性があります。松田町でどの位の利用があるのか需要予測をしていると思いますので、その中でバスからの転換をどの位見込んでいるのか、その結果、どの位転換したら補助基準を下回るのか検討していると思いますので、教えてください。また補助を受けることが出来なくなった場合、大井町、山北町、松田町などに影響しますが、補助体制についてどのように考えていますか。 5. 今回運賃は安い運賃となっており、タクシーの初乗り運賃よりも安い運賃で移動できることになっています。タクシー事業者に対し、減収の補填をすることがよくありますが、そのようなことを考えているのでしょうか。 6. 松田町、大井町全体でどの位の利用者数を見込んでいるのでしょうか。また、目標人数と3年後に本格運行へ移行する際のラインについて教えてください。 7. 今回おおいゆめバスや地域間幹線への影響を考慮すると、利用者数だけでなく、ODのデータも必要ですが、ODデータは取得可能ですか。 8. 今回実験は3年間ですが、一部道路運送法 21 条となっています。実施してみないと分からないことは沢山あるかと思いますが、21 条で運行し、その結果を踏まえて1年延長するという方法の方が良いのではないのでしょうか。見直しのサイクルをどのように考えていますか。 9. 協議運賃については、松田町で協議が整っていれば、大井町でも協議が必要でしょうか。ここについては、運輸支局の方に確認させてください。協議が必要な場合、今月の法改正で制度が変更となり、この会議で協議することが出来なくなってしまいました。この会議で協議しても大丈夫でしょうか。 <p>路線バス事業者との協議ですが、松田町の中では寄線がメインの路線で、影響を受ける懸念はしています。オンデマンド交通から富士急湘南バス（株）のバス停で乗換えた場合、利便性の低下が懸念されるため、富士急湘南バス（株）にお願いをして、直接、新松田駅まで行けるようにしています。富士急湘南バス（株）や松田合同自動車（株）から当初に、新松田駅には止めないで欲しいという意見も頂いたため、駅南口のみを停車場所とする調整をさせていただきました。減収等の影響の原因となった場合は、見直しをしていくということをご理解頂いた状況です。</p> <p>おおいゆめバスや地域間幹線の補助の件ですが、寄線は補助金が出ていない状況です。細かいルートに入る部分や増発部分については、町の方から補助金を出していま</p>
---------------	---

	<p>す。大井町や山北町に関連する地域間幹線については、幹線のバスが走っていない所だけにするなど、大井町との協議も踏まえて、見直しを検討していきたいと思います。運賃については、タクシーよりも安くすることにしています。路線バスなどからオンデマンド交通へ乗り換えるのではなく、自家用送迎車からオンデマンド交通へ転換することで、安全性も向上することため、自家用車からの転換が理想かと考えています。目標については、1年後に3,000世帯が会員になって頂くことを目標にしています。3年後の本格運行へ移行する際の判断基準は、路線バス、タクシー事業者の委託するために、約2,000万円弱の予算を確保しなければ、現状が維持出来ない状況です。予算については右肩上がりのため、現状の予算より下げて、2,000万円を上限に考えていきたいと思っております。</p> <p>ODデータについては、システムで属性別の移動状況が取得できることになっているため、データに基づき、見直しを検討していきたいと考えています。</p> <p>今回半年に1回は見直しを検討し、ODデータは月に1回、ネクストモビリティと協力して確認していきたいと考えています。</p>
会 長	<p>おおいゆめバスと地域間幹線について補助を下回る可能性の件ですが、どの位転換したら影響が出るのかについて、松田町約4,500世帯の中で3,000世帯が会員となった場合、影響出ないはずがないと思います。影響が出るラインがどこなのか、試算はしてないのでしょうか。</p>
松田町担当者	<p>過去町民アンケート調査を行っており、「利用したい」回答から試算をして、3,000世帯を目標としています。試算結果から、4台であれば、そのニーズを満たすことが出来ることを見込んでいます。</p>
会 長	<p>試算はしていないということでもよろしいでしょうか。補助を下回るラインについて、どの位デマンドで利用があったら、路線バスからどの位転換するのか、何人転換したら地域間幹線の補助を下回るのか試算はしていますか。</p>
松田町担当者	<p>試算はしていません。</p>
会 長	<p>大井町の場合、フィーダーつながる地域間幹線がなくなると補助金の対象にならなくなるため、地域間幹線への影響を確認しています。現状の予算は2,000万円ですが、3年後は松田町単独で運行することになるかと思えます。3,000世帯が会員となった場合、オンデマンド単体の収支が確保されますが、仮に下回った場合は2,000万円以上予算が確保できないという理解でもよろしいでしょうか。</p>
松田町担当者	<p>地域公共交通計画に基づくと、2,000万円以上は厳しいと考えています。</p>
会 長	<p>オンデマンド単体で採算が確保できる程度利用いただかないと本格運行しないということが、行つか否かのラインということですか。</p>
松田町担当者	<p>その通りです。</p>
委 員	<p>松田町地域公共交通会議で決めた運賃について、大井町地域公共交通会議で協議するかどうかは、大井町地域公共会議として運賃も含めた内容についてどのように返事するのかということだと思います。そのため本会議で運賃を協議することではないと思います。もう1点、補助要件として、輸送量は地域間幹線が1日15～150人以上、フィーダー系統が1便2.0人となっています。活性化再生法が4月に改正され、10月に道路運送法も施行されています。これまで地域公共交通会議で運賃の協議が整えば、</p>

会	長	その後運輸局へ届けばいいことになっていましたが、地域公共交通会議とは別の会議体を設立し、そこで運賃を協議することに変更となっています。今後おおいゆめバスや松田町のデマンドバスについて、運賃を変更する場合は注意が必要となっております。運輸支局でもご相談に応じたいと思います。
委	員	運賃については、松田町地域公共交通会議で協議が整っているため、この会議では協議が必要ないと理解しました。今回4台で運行ということですが、富士急湘南バス(株)は運行委託を受けることができる状況でしょうか。
委	員	4台すべてを受けることが厳しいですが、地域の公共交通事業者として全く協力しないわけにもいかないため、一番運行時間が短い8～19時で1台を運行することになっています。運転手確保も必要な課題です。4月から運転手を4名採用し、そのうち1名は職住近接の観点で御殿場営業所となっていますので、3名増えていますので、1台のみを請け負っています。
会	長	おおいゆめバスは定時定路線で、松田町はデマンドのため、走り方や対象エリアも違います。本来であれば、棲み分けをしてしっかりと協議をして進めるべき話だと思います。影響があることは理解頂いており、影響があったら見直すとの説明はありましたが、最大どの位影響があるのか、大井町も利便性が高まるメリットもあるため、多少マイナスがあっても運行する価値があるが、今の情報だけでは判断できない状況です。10月23日に運行を開始しますが、会長としては良いか悪いか答えられない状況です。
松田町担当者		10月23日から運行がスタートするため、協議が整わない場合は地域公共交通会議の会長に相談したいと思います。
会	長	この情報では議決を取るための情報が足りないので、改めて情報を頂き、本日は議決をしない方法、もしくは会長の私だけが情報を足りないと思っておりますので、この場では皆さんに議決を取るのか。1つ目の選択肢があり得ますか。
松田町担当者		出来れば後の方で協議をして頂きたいと思います。
会	長	協議事項のため、議決したいと思いますが、よろしいでしょうか。松田町A I デマンド交通について大井町として議決を取りたいと思いますがいかがでしょうか。
委	員	本日議決を取らない方が良いと思います。
委	員	私も議決を取らない方が良いと考えており、そのための一つ目の提案でした。
委	員	今まで何も連携がないのに、賛成、反対と回答出来ません。大井町と松田町で公共交通について話し合いながら、この会議で議論するのは分かりますが、別々に動いているため、この場で回答できません。
会	長	一旦議決は取らないで、追加の情報を頂きながら、松田町と大井町でどのようなことを連携していくのか整理した上で、改めて話をしていきたい思います。担当者間で情報を全く知らないという状況ではありませんでしたが、会議で議決を取ることができる資料が不足していたことがお互いの反省点かと思えます。もともと大井町地域公共交通会議は1月に予定していましたが、出来るだけ早めて協議することが出来ないのでしょうか。また、今回の松田町A I デマンド交通の区域について、松田町だけで運行するなど変更することは出来ないのでしょうか。
委	員	大井町での協議は整っていないですが、まずは運行を10月23日からスタートして、

会 長	<p>同時並行で大井町地域公共交通会議に色々な資料をご提供頂き、委員の合意を取りながら、やはり大井町の乗降場所は外すのか、現行のままで良いのか、逐一報告をいただくことを条件に了承することがいいのではないかと考えています。大井町地域公共交通会議で外して欲しいという結論になった場合は、外すことになることを松田町に了解を頂ければいいのではないのでしょうか。それか、スタート自体を遅らせるかかと思えます。</p>
委 員	<p>始めないといけない都合もあるかと思えます。松田町内は松田町で実施するとして、大井町については資料を提供頂き、その資料で良いか悪いか会長と事務局で判断させていただきたいと思えます。次の会議でもう一度協議事項として諮って、大井町を区域として外すという選択肢が取ることが可能であれば、この会議では会長と事務局に一任とさせていただきます。今日は議決を取らず、次回取ります。松田町から提供頂いた資料について、事務局と会長で話し合い、その結果について委員の皆さまに通知したいと思えます。次回交通会議については、松田町A I デマンド交通だけの議題で、11月か12月に開催したいと考えています。</p>
会 長	<p>根岸上はとても不便な状況で、住んでいる方がA I デマンド交通の会員になった方がいます。この会議で難しいからやめることになった場合、大井町と松田町の町境で切るなどの方法があると思えますが、そのような方もいる状況です。</p>
委 員	<p>困っている方がいて、松田町の施策で助かる方が沢山いることも認識しています。おおいゆめバスもコストだけを考えると運行しないことになってしまいますが、地域のために、町が負担してもおおいゆめバス運行しています。松田町と調整する上で、困っている人を助けることを第一の念頭に考えて対応したいと思えます。</p>
会 務 局	<p>運転手不足ですが、運輸支局としても毎年神奈川県内の高校に訪問し、バス、タクシー、トラックの運転手確保へ向けて、校長や進路指導の先生にパンフレットを配布しています。また、バリアフリー教室も行っており、小学校を対象に、ノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーの乗り方など親しんで頂き、大人になったら運転手になりたい人を増やすような地道な活動も必要と考え、取り組んでおります。大井町も小学校や高校などにご協力いただきたいと思います。</p> <p>交通会議については早めに調整しますので、ご協力お願いいたします。</p> <p>長時間ありがとうございました。次回の交通会議については後日ご連絡させていただきます。長時間に渡り、ご協議頂き、誠にありがとうございました。第18回地域公共交通会議を終了いたします。</p>